

件名: 5年7月度会長通信

人生も仕事も心の学校

今2週間に一度理念研修を行なっています。今まで生き方の話はあまりして来ませんでしたが、この理念研修の最初に五十嵐薫の

「人間は他に尽くしたときに喜びを感じ、自分のことだけを考えていると時に孤独に陥る」の話をします。

何故なら、現在の企業理念が出来たきっかけが、この思いが入っているからです。

仕事の中に本当は個人の人生観が大きく影響します。しかし、今まであまり話して来ませんでしたが。個人の人生観と仕事とは世界が違い、余り受け入れて貰えないと思ったからです。しかし個人の人生観と仕事の人生観は一緒です。

店長会で理念、使命感の発表の時に

羽場たけつぐ

「命それは光であり法則であり愛である

人は愛を学ぶ為に生まれ

生かされて生きる命である」

の話をしました。

人は何の為に生きているとお思いですか。これは

仕事は何の為にしているのかとも同じです。

仕事の人生観と個人の人生観とが繋がらないと本物の仕事は出来ません。

では改めて聞きますか何の為に生きてますか。

本当に難しいです。

私は小学校3年生の時に突然実の母親が亡くなりました。

子ども心に何の為に生きているのか、死んだらどうなるのかをずっと考えて来た様な気がします。

その後小学校6年生の時に来た新しい母との確執は言葉に言い表すことは出来ません。

多くの本を読み、多くの勉強をしました。

実は私たちはこの世にお勉強に来たのです。人生は心の学校なのです。心を高める為にこの世にやってきて、いろいろな困難、苦しみを経験して

、その中で心を高め、愛を学ぶ為に1日一日を生きている。

いや生かされているのではないかと思います。

古田土会計古田土先生は

「私が一番大事にしているのは、使命感、理念です。

この2つを勉強会のたびに言い続けています。

社員は使命感・理念に共感し、実践することにより自分の仕事にプライドを持ち、使命感を会社の仕事の中心に置かなければなりません。

世の中の全ての仕事は社会にとってなくてはならないものです。

全ての職業は世の中の役に立ち、社会貢献しています。

中小企業の社長は自分達の仕事がいかに尊く、社会貢献しているのか。

すなわち、使命感を社員にわかりやすく説明し、繰り返し、繰り返し、伝え続けてほしいと思っています。

自分の仕事の意味を理解し、いきいきと働くことが社員の本当の幸せだと思っています。

社長の大事な仕事は、使命感を社員に伝え続けることだと信じています。」

この「古田土先生の世の中の全ての仕事は社会にとってなくてはならないもの、全ての職業は世の中の役に立ち、社会貢献している」が最も大切です。

「人間は他に尽くしたときに喜びを感じ、自分のことだけを考えると時に孤独に陥る」と通じます。

最近心を病む人が増えています。困難に負けずに、困難は自分を成長させてくれる教材。

身の回りに起こってくるすべてのことを自分の学びの教材としてとらえることができたなら人生の意味が理解できます。

仕事の意味、自分自身が誰かのお役に立っている実感を獲得して下さい。

それは仕事も個人も関係ありません。

イキイキワクワク過ごす為には、人生も仕事も誰かのお役に立っている実感を是非とも確立し、

仕事も人生も自らの心を成長させることが真の目的、私たちは人生という道場で修行をしている修行者です。

人生も仕事も心の学校です。

私たちは、まだまだ未熟だからこそ、もっともっと勉強しなければならないと思っています。